

難治性透析関連頭痛に対するアロマセラピーの効果

医療法人衆和会 長崎腎クリニック
○高木志緒理 佐藤貴子 白井美千代

【背景】

透析関連頭痛は導入期の不均衡症候群である事が多い。しかし維持期に移行しても症状が改善しない例や脳浮腫改善薬の効果が認められない難治性症例も散見される。このような症例では不均衡症候群だけではなく、自律神経障害が関与している可能性がある。

【目的】

脳浮腫改善薬が無効の透析関連頭痛症例に対して、アロマセラピートリートメントの有用性を検討する。

【対象】

脳の器質的障害が無く、3カ月以上継続する慢性の透析関連頭痛患者5症例

【倫理的配慮】

調査結果は研究以外の目的には使用しないことを説明

【方法】

ICを行い、筋緊張の緩和と鎮静鎮痛作用があるとされるアロマ精油を用いたトリートメントを毎回透析時に1カ月間施行。治療期間前後で以下の項目を評価した。①頭痛強度評価(VAS) ②日常生活支障度評価(HIT-6) ③自律神経機能評価(心電図 CVRR 間隔) ④透析前後の平均血圧・脈拍数

【結果】

頭痛強度は71.2→46.4に改善。日常生活支障度評価は66.2→53.8に改善。透析後の自律神経機能の改善。透析前後の平均血圧・脈拍の減少が確認された。

【考察】

アロマセラピーで自律神経機能低下を改善する効果が認められた。また同時にスキンシップによる心理的効果も予想され、これらの複合作用で痛みの閾値を高めた可能性が考えられる。さらに頭痛改善に伴い日常生活支障度も改善された。

【結論】

アロマセラピーは難治性透析関連頭痛を改善し、QOLを向上させる。